

大雨による（砂防）防災情報（第2報）

湯沢河川国道事務所では、前線に伴う大雨の影響により八幡平山系秋田県側（仙北市田沢湖生保内 地内）の雨量観測所で連続雨量が120mmに達し、土砂災害による被害が発生する恐れがあることから、8月15日（日）9時00分に土砂災害対策支部「注意体制」から「警戒体制」に移行しました。

降雨の状況を見て、管内砂防施設の巡視点検を実施する予定です。

1. 降雨情報

平成22年8月15日（日）9時00分現在

山系名	観測所名	時間雨量	連続雨量
八幡平山系 （秋田県側）	生保内雨量観測所	2 mm	120 mm
	黒湯雨量観測所	1 mm	104 mm
	熊ノ台雨量観測所	5 mm	96 mm
	小先達雨量観測所	0 mm	77 mm

2. 事務所の体制

8月14日 16時50分 土砂災害対策支部（注意体制）

8月15日 9時00分 土砂災害対策支部（警戒体制）

3. 今後の見通し

現在も降雨が続いておりますので、今後の気象情報、土砂災害情報に注意してください。

<記者発表先> 秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢・大曲・角館支局

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

副所長（河川） 阿部 富雄 （内線204）

調査第一課長 菊田 友弥 （内線351）

（直通 TEL：0183-73-5544）